

和歌山

あなたと

県

をつなぐ広報紙

県民の友

9月号

No.949

平成29年[2017]



避難カード		大和郡
しおり		
氏名		
性別		
生年月日	性別	年齢
電話番号		

「避難カード」を活用して
避難方法についての家族会議

県政最前線 | 防災特集

災害から命を守る

いざという時！
忘れないでください。



片田敏孝
東京大学大学院情報学環
特任教授 監修

津波避難
3原則

- ① 想定にとらわれない
- ② 最善を尽くせ
- ③ 率先避難者になれ

津波について
正しい知識をもちましょう！

- 津波は繰り返しやってくる。第一波が最大とは限らない。(第一波が小さくても油断しない、引いても戻らない。)
- 津波は引き波から始まるとは限らない。
- 30センチの津波でもまきこまれるおそれがある。
- 弱い地震でも大きな津波を引き起こすことがある。
- ゆったりとした長い揺れが続く場合は津波を引き起こす海溝型地震の可能性を考え、避難する。(東日本大震災では3分以上も揺れが続いた地域もある。)

地震の揺れが収まったら
必ず避難を！

- あらかじめどこへ避難するか調べておきましょう。(避難カードを活用ください。)
- ラジオ・テレビ・メール・防災無線などから正確な情報を素早く入手できるようにしましょう。
- 東日本大震災では浸水想定地域を大きく越える津波がやってきました。ハザードマップを過信せず、できる限り安全な場所をめざして避難しましょう。
- 空振りを恐れず、率先して避難しましょう。

災害から

命を守る

さいがい

いのち

まも

問 県庁危機管理・消防課
けんちようきぎかんりしやうぼうか
けんちようぼうさいきかく
県庁防災企画課
073-441-2260
073-441-2271

和歌山県は、地形的・気象的な特性ゆえに、度重なる災害を経験し、多くの人命を失ってきました。物的被害は元に戻すことはできても、失われた尊い命は永久に戻ることはありません。何よりも守らなければならぬのは、人命です。

県では、今後発生が想定される南海トラフ地震をはじめとする地震や津波、台風や局地的豪雨による洪水・土砂災害などのあらゆる自然災害から尊い命を守る、「災害による犠牲者ゼロ」を実現するため、津波予測システムを活用した緊急速報メールによる避難の呼びかけ、避難場所安全レベルの設定、避難カードの普及、住宅の耐震化・家具固定・ブロック塀の安全対策のほか、洪水・土砂災害に関する情報の提供など、防災・減災対策を着実に進めています。

津波から命を守る

つなみ

いのち

まも

県では、「津波から逃げ切る！」支援対策プログラム」を策定し、避難場所安全レベルの設定、緊急避難先や避難所を記入し携帯しておく「避難カード」の普及、避難路や避難タワーの整備などにより津波から命を守る取り組みを推進しています。

南海トラフで発生する地震

東海・東南海・南海3連動地震
マグニチュード8.7

南海トラフ沿いの3つの領域(東海・東南海・南海)では、約90~150年周期で津波を伴う地震が起きています。3つの地震が同時に起こることを3連動といい、大きな被害が予想されます。

南海トラフ巨大地震
マグニチュード9.1

東海・東南海・南海3連動地震の震源域より、さらに広域の震源域で地震が連動した場合の、最大クラスの地震のことです。実際に発生したことを示す記録は見つかっておらず、発生頻度は極めて低いですが、発生すれば甚大な被害が予想されます。

「南海トラフの地震」の震源域



30年以内に
マグニチュード8~9クラスの
巨大地震が起こる確率

70%程度

南海トラフとは、静岡県の駿河湾から九州東方沖まで約700kmにわたって続く、深さ約4,000mの海底のくぼみ(深い溝状の地形)のことです。

避難カード

わたしは逃げるよ！だから 家族で決めた避難場所で会おう！

いざという時のために、家族で避難場所や避難経路について話し合い、実際に確かめておきましょう。家族を信じ、率先して避難しましょう！
「わたしは逃げる！」その姿勢が大切です。

記入例

避難カード		欠避難場所
しめい	わかやま たろう	緊急避難先 ①□□小学校 ②△△山公園
氏名	和歌山 太郎	避難所 □□小学校
住所	和歌山市小松原通1-1	緊急避難先 ①□□小学校 ②○○高等学校
生年月日	2000年1月1日	避難所 □□小学校
性別	男	風水害
家族	3人	□□小学校
緊急	① 000-000-0000	
連絡先	② 000-000-0000	
	③ 000-000-0000	

※避難場所…災害種別(水害、土砂災害、地震、津波など)ごとに指定されている、緊急的に避難する場所。緊急避難場所、緊急避難先ともいう。

※避難所…災害により自宅に帰ることができなくなった住民等が一定期間滞在する施設。



避難場所安全レベルの設定



レベル1 ★

浸水の危険性がある地域で、時間的に「レベル2・3」へ避難する余裕がない場合の避難場所として指定

レベル2 ★★

浸水想定近接地域で、「レベル3」へ避難する余裕がない場合の避難場所として指定

レベル3 ★★★

浸水の危険性がない地域で、より標高が高くより離れた安全な場所を指定

※津波浸水想定や避難場所安全レベルは、市町村にお問い合わせいただくか、県WEBサイトをご覧ください。

和歌山県津波浸水想定 和歌山県緊急避難先

地震から命を守る

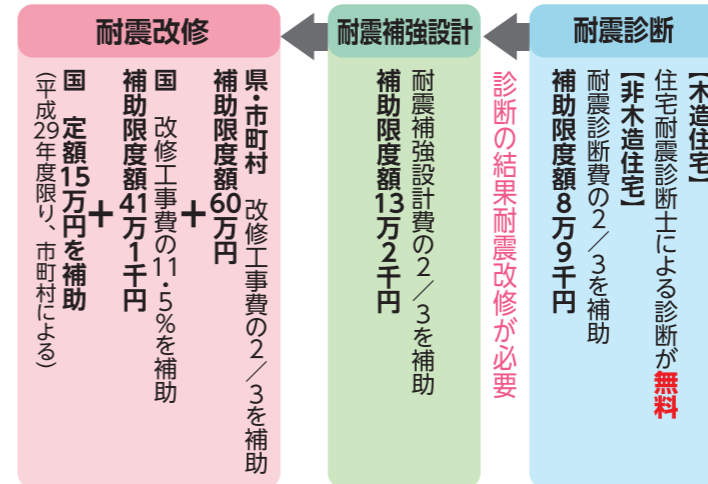
昨年4月に発生した熊本地震では、建物の倒壊により多くの方が犠牲になりました。県では、建物の倒壊から命を守るため、住宅の耐震診断、補強設計、耐震改修や耐震ベッド・シェルターの設置を支援しており、今年度から耐震化の必要性和支援制度をお知らせする戸別訪問を始めています。あわせて、家具の固定、ブロック塀の安全対策を推進しています。



熊本地震で倒壊を免れた家屋と倒壊した家屋

住宅耐震化

住宅の耐震性をチェックして、耐震補強をしましょう。県では、耐震診断から耐震改修まで支援制度を設けています。対象は昭和56年5月以前に建築された住宅です。(市町村によっては、木造住宅は平成12年5月以前)



木造住宅耐震化に係る経費の例(定額15万円の補助がある場合)

	経費	補助金等	自己負担
耐震診断	4.4万円	4.4万円	0万円
補強設計	20.0万円	13.2万円	6.8万円
耐震改修	120.0万円	88.8万円	31.2万円
合計	144.4万円	106.4万円	38.0万円

たとえば設計費20万円、工事費120万円の場合

自己負担38万円!

問 県庁建築住宅課 ☎073-441-3214

耐震ベッド・耐震シェルター

住宅の耐震より安価で、寝床や居住スペースの安全が確保できる、耐震ベッドや耐震シェルターの設置費用を補助しています。

設置費用に係る経費の例

経費	補助金	自己負担
40.0万円	26.6万円	13.4万円

たとえば設置費40万円の場合、**自己負担 13.4万円!**

※詳しくは、市町村耐震相談窓口へお問い合わせください。



- 対象**
- 耐震診断の結果、耐震性を有しないと診断された木造住宅
 - 申請者多数の場合は高齢者、障害者を優先

- 補助率と補助額**
- 設置費用の2/3
 - 補助限度額 26万6千円

現在、住宅耐震化の必要性や支援制度などをより多くの方に知っていただくために、県や役場の方と合同で戸別訪問を行っています。過去の大地震では、住宅の倒壊などにより、多くの命が失われました。そのため、住宅の耐震化は生命を守るうえで非常に重要な個人でできる防災のひとつです。大震災に備え、最終目標は住宅の耐震改修工事ですが、まずは耐震診断を受けて、ご自宅の耐震性を知っていただけたらと思います。



自宅の耐震は大丈夫ですか?
住宅の耐震化について広く知っていただくために、戸別訪問を始めています。
インタビュー
和歌山県登録 住宅耐震訪問員 玉置真司さんにお話を伺いました。

家具の固定、ブロック塀の安全対策

家具の固定器具取付工事を専門業者に依頼したい方のために、「家具等固定施工事業者登録制度」を設け、登録事業者を紹介しています。



熊本地震で倒壊したブロック塀

風水害から命を守る

台風や局地的豪雨による被害をなくすため、県では「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成のモデル基準」を策定するとともに、短長期の降水予測を行う独自の気象予測システムを整備し、市町村が早期かつ的確に避難勧告などを発令できるよう支援しています。また、河川整備など洪水・浸水対策や土砂災害警戒区域等の指定など土砂災害対策を着実に進めています。大雨の時は気象に関する情報、河川の水位や洪水、土砂災害に関する注意報・警報、土砂災害警戒情報、避難勧告等の発令情報などに十分注意して、早めに避難を行い、自ら命を守りましょう。

市町村が発令する避難情報を確認!

避難準備・高齢者等避難開始

- いつでも避難できるように準備を呼びかけるものです。
- 高齢者等避難に時間がかかる方は、避難を開始してください。

避難勧告

- 災害による被害が予想されます。
- 避難場所等に避難してください。

避難指示(緊急)

- 災害による危険性が非常に高まっています。
- まだ避難していない場合は、直ちに避難してください。

土砂災害から身を守るための3つのポイント

- ① **台風が来る前に!**
地域の土砂災害危険箇所を普段から確認する。
- ② **雨が降り始めたら!**
雨雲の動きと土砂災害警戒情報に注意する。
- ③ **豪雨になる前に!**
大雨時や土砂災害警戒情報が発表されたときは、早めに近くの安全な場所に避難する。また、夜間に大雨が予想されるときは、暗くなる前に避難する。

早めの避難判断!

県では、河川の水位や洪水情報、土砂災害に関する情報を、県WEBサイト、テレビ和歌山やNHK総合のデータ放送で提供しています。早めの避難判断に、防災情報を有効に利用しましょう。

河川の情報

- 河川の水位や洪水の情報

和歌山県河川雨量情報 | 気象庁

土砂災害の情報

- 雨量・土砂災害警戒情報
和歌山 砂防課
- わかやま土砂災害マップ
和歌山土砂災害マップ
- 土砂災害から身を守るための情報
和歌山 土砂 守る



いち早く防災情報を得る

県からの情報発信を上手に利用しましょう。

防災わかやまメール 配信サービス

県内の気象情報や地震・津波の情報、避難勧告等の発令情報など、さまざまな情報をメールでお知らせします。メールの受信には登録が必要となります。ぜひ登録してください。



防災わかやま
メール配信サービス
登録用QRコード

登録用メールアドレス
regist@bousai.pref.wakayama.lg.jp

※携帯電話でQRコードを読み込むか、登録用メールアドレスに空メールを送って設定すると登録されます。

防災わかやま



防災を学び、意識を高める

津波防災教育センター

地震・津波に対する備えを学習・啓発する拠点施設です。3D津波映像シアターでは迫力ある映像で地震・津波の威力を体感することができます。津波シミュレーションでは津波実験水槽で津波の伝わり方を学習することができます。



☎ 0737-64-1760
〒641-0260 和歌山県和歌山市
センター広川町広671

各種パンフレット・啓発用DVD

防災イベントや防災研修などに利用できる各種パンフレットの配布や啓発用DVDの貸し出しを行っています。詳しくは県WEBサイト「防災わかやま」をご覧ください。



パンフレット
● かけがえのない命をまもるために
● 津波から「逃げ切る！」ために 等



啓発用DVD
● 巨大地震！
～自分の力で家族の命を守る2つの対策～ 等

エリアメール(NTTドコモ) 緊急速報メール(auc、ソフトバンク)

避難が必要となる津波や土砂災害などの緊急情報を一斉に携帯電話へ配信するサービスです。登録は不要です。
※受信できない、または個別に設定が必要となる機種があります。

避難先の検索

スマートフォンなどからは

避難先までのルート検索アプリ「全国避難所ガイド」をダウンロード。GPSによる現在地から避難先までのルート検索ができます。



ファーストメディア
「全国避難所ガイド」
<http://www.hinanjyo.jp/>

避難所情報は「防災GIS」で

県WEBサイト「防災わかやま」から「防災GIS」をクリック。災害時に、開設済みの避難所や通行規制等の状況などを、リアルタイムに電子地図で確認できます。



日頃からの備え

非常持出品

避難するときにはまず最初に持ち出すべきものとして、避難バッグに入る程度の量をひとまとめにし、すぐに持ち出せるよう置き場所を決めて備える。



〔非常持出品の例〕
・現金・救急医療品・非常食・常備薬
・飲料水・携帯ラジオ・懐中電灯 など

非常備蓄品

救援活動が受けられるまでに必要な1週間分程度の水や食料などを被災後でも取り出せる場所に保管し、備える。



〔非常備蓄品の例〕
・備蓄食料・備蓄飲料・卓上コンロ
・ウェットティッシュ など

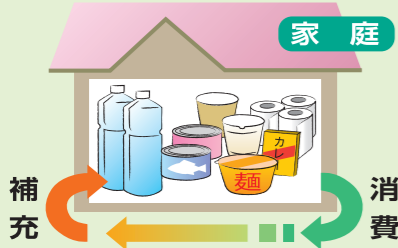
「紀の国防災人づくり塾」

地域の自主防災組織や企業などで防災の中心的な担い手となる方を育成するため、防災に関する知識、技術を学ぶ「紀の国防災人づくり塾」を実施しています。本講座修了者には、日本防災士機構が実施する「防災士資格取得試験」の受験資格が与えられます。



「ところてん方式」で 備蓄も楽々！

日頃から使っている消耗品・衛生用品・食料などを多めに買って置き、消費したら補充する「ところてん方式」で家庭での備蓄が簡単にできます。



11月5日は「世界津波の日」

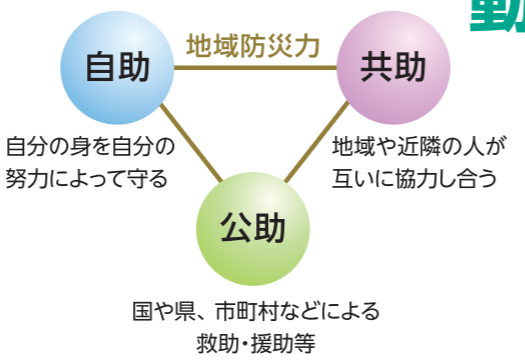
「世界津波の日」は、安政元年(1854年)11月5日、安政南海地震による津波が広村(現在の広川町)を襲った際、本県の偉人である濱口梧陵翁が稲むらに火をつけて住民を避難させた「稲むらの火」の故事にちなみ制定されました。この日を中心に、各地で防災訓練や啓発活動が実施されます。



自主防災活動

自主防災組織とは？

地域住民が協力・連携し「自分たちの地域は自分たちで守る」活動を目的に、自主的に結成する組織のことです。防災対策の基本は、「自助」、「共助」、「公助」の3つであり、これらがつながることで、被害の軽減を図ることができます。



自主防災組織の活動

- 災害時に地域内における初期消火や住民の安否確認など重要な役割を担います。そのため、平常時には、災害時における共助の役割を果たすための準備が必要です。
- 平時時
 - 防災知識の普及・啓発
 - 家庭での取組の普及啓発・支援
 - 防災訓練の実施
 - 地域の安全点検
 - 防災資機材・備品などの準備と確認
- 災害時
 - 情報の収集・伝達
 - 避難支援
 - 避難所の運営・管理
 - 救出・救助と救護活動
 - 出火防止・初期消火活動

インタビュー



紀の川市防災リーダー会
会長 松浦映次さん

知人の勧めで、防災士の資格を取得し、防災活動に携わっています。現在は、自主防災組織に所属し、住民の方と避難経路の確認をしたり、小学校に向いて災害に備える大切さを伝えていきます。近い将来、南海トラフ地震は必ず発生すると言われています。いざという時のため、日頃から一人ひとりが災害の知識を身につけ、考え行動することが大切です。

ピア・サポート研修会

ピア・サポートの基礎的な知識や技術を学ぶ

時:①10月21日(土)14:00~16:00
②12月2日(土)13:30~16:30
場:①県立わかやま館②プラザホープ(和歌山市)

対・定:難病患者や長期療養児、その家族など各30人 [先着順](#)

申・問:電話、FAXで氏名、電話番号、一時保育の有無を開催日の10日前(手話通訳・要約筆記希望者は開催日の30日前)までに県難病・子ども保健相談支援センター

☎073-445-0520 FAX073-445-0603

[WEB](#)



紀北青少年の家

〒649-7112 かつらぎ町中飯降1317-3
☎0736-22-5530 FAX0736-22-5531

ハロウィンパーティー

異文化を知り、参加者の交流を深める

時:10月14日(土)~15日(日)1泊2日
対:小学4~6年生
定・費:40人 [先着順](#) 3,500円
申:9月30日まで

白崎青少年の家

〒649-1123 由良町大引961-1
☎0738-65-2351 FAX0738-65-2352

ジュニアリーダー育成特別講座

リーダー育成講座、野外炊飯など

時:10月21日(土)~22日(日)1泊2日
対:小学4年~中学1年生
定・費:10人 [先着順](#) 2,700円
申:10月7日まで

原爆被爆二世健康診断

場:県が指定する13医療機関
対:県内在住の原爆被爆二世の方
定:60人(未受診者を優先)
申・問:郵送、FAXで所定の申込書(申込先で配布)を9月20日までに各保健所(支所)または県庁健康推進課 FAX073-428-2325

いのち・たいせつキャンペーン

講演と癒しの音楽会
時:9月16日(土)13:00~17:00
場:和歌山ビッグ愛(和歌山市)
定:200人 [先着順](#)
問:心のSOSサポートネット
☎080-5777-5560

[心のSOSサポートネット](#)

潮岬青少年の家

〒649-3502 串本町潮岬669
☎0735-62-6045 FAX0735-62-0182

Halloween Party 2017

異文化を知り、参加者の交流を深める
時:10月28日(土)~29日(日)1泊2日
対:小学4年~中学3年生
定・費:30人 [先着順](#) 4,600円
申:9月19日~10月11日



さつまいも収穫とはちみつしぼり体験

食物を作る大変さやありがたみを知る
時:11月4日(土)~5日(日)1泊2日
対:小学3年生以下は保護者同伴
定:30人 [先着順](#)
費:3~18歳4,600円、19歳以上5,120円
申:9月26日~10月18日まで

※申し込みには、参加者全員の住所、氏名、年齢(学年)、電話番号などが必要です。Eメール、FAXで申し込まれた場合は電話で確認してください。詳しくは各施設へ [〇〇青少年の家](#)

犯罪被害者等支援無料相談

時・場:①10月7日 田辺市民総合センター②21日 橋本市教育文化会館
いずれも土曜10:00~16:00
申・問:電話で前日までに紀の国被害者支援センター
☎073-427-1000(相談ダイヤル)

難病患者の就労・年金・療養相談会

時:10月3日(火)13:30~16:30
場:和歌山市中央コミュニティセンター
対・定:難病患者とその家族15人 [先着順](#)
申・問:電話、FAXで住所、氏名、電話(FAX)番号、相談内容を9月19日までに県難病・子ども保健相談支援センター
☎073-445-0520 FAX073-445-0603

[WEB](#)

※手話通訳は要予約

第36回Microwave Surgery研究会 市民公開講座

テーマ:最新のがん外科治療
時:9月16日(土)13:00~15:00
場:県立医大講堂(和歌山市)
定:500人 [先着順](#)
問:県立医大外科学第2講座
☎073-441-0613

[第36回Microwave Surgery研究会](#)

盲ろう者向け通訳・介助者養成研修会(前期)

時:10月8・22・29日、11月5・19・26日、12月3・17・24日(全9日間)
いずれも日曜10:30~16:30
場:田辺市民総合センター 他
対:受講後、通訳・介助者として活動できる県内在住・在勤の18歳以上の方
定:20人 [抽選](#)
費:3,000円(教材費)
申・問:郵送、FAXで所定の申込書(申込先で配布)を9月29日までに和歌山盲ろう者友の会 〒640-8331和歌山市美園町5-5-1
☎(FAX)073-498-7756

紀の国ものづくり就職フェア

県内の製造業などの人事担当者との個別面談方式による説明会
時:9月24日(日)13:00~16:00
場:和歌山ビッグ愛(和歌山市)
問:県庁労働政策課
[UI和歌山就職ガイド](#)
※手話通訳は要予約

県男女共同参画センター “りいぶる”からのお知らせ

①**保育つき読書の時間**
子供を預けて読書を楽しんでもらう
時:10月5日(木)10:30~12:00
対:保護者と子供(1歳~未就学児)
定:10組 [抽選](#)
申:電話、FAX、Eメール、来所で住所、氏名、電話番号、子供の名前・年齢を9月5~24日に問合先

②**読み語り広場**
時:10月13日(金)10:30~11:30
定:20人 [先着順](#)
申:電話、FAX、Eメール、来所で住所、氏名、電話番号を(一時保育希望者は10月3日までに)問合先

①②**共通**
場・問:“りいぶる”和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛9階
☎073-435-5245 FAX073-435-5247
[libre@sirius.ocn.ne.jp](#) [WEB](#)

特設労働相談会

労働者個人と事業主との労働条件などのトラブル相談
時・場:①10月11日(水)御坊商工会館(御坊市)
②13日(金)打田生涯学習センター(紀の川市)、紀州有田商工会議所(有田市)
③20日(金)ラポール橋本(橋本市)
④25日(水)新宮商工会議所(新宮市)
⑤27日(金)プラザホープ(和歌山市)、田辺市生涯学習センター
いずれも18:00~21:00
対・定:県内の事業所に勤務する労働者と事業主 各会場5人程度 [先着順](#)
申・問:電話で住所、氏名、電話番号、相談内容を各相談日の前日16:00までに県労働委員会事務局 [WEB](#)

「元気わかやま」ビジネスプラン

創業についてのビジネスプランを募集
対:①県内で今後1年以内に起業を検討されている方
②県内で起業されて5年未満の方
申・問:郵送、FAX、Eメールで所定の申込書(申込先、WEBサイトで配布)を9月29日までに「創業支援セミナー inわかやま」事務局 〒640-8033和歌山市本町2-1フォルテワジマ6階
☎073-432-3412 FAX073-432-3314
[sogyo@yarukiouendan.jp](#)
[わかやま産業振興財団](#)



国際・第38回全日本マスターズ 陸上競技選手権大会開催記念シンポジウム

テーマ:生涯スポーツの果たす役割
時:10月26日(木)13:30~15:30
場:アバローム紀の国(和歌山市)
定:300人 [先着順](#)
申・問:郵送、FAXで所定の申込書(WEBサイトで配布)を9月30日までに和歌山マスターズ陸上競技連盟 〒641-0021和歌山市和歌浦東3-6-14
☎(FAX)073-445-5707
[和歌山マスターズ陸上競技連盟](#)

人権を考える公開講座

テーマ:共に生きる。~多文化共生とは~
時:9月30日(土)14:00~15:30
場:海南市民交流センター
対:県内在住・在勤・在学の方
定:50人 [先着順](#)
申・問:電話、FAX、Eメールで氏名、電話番号を(一時保育・手話通訳・要約筆記希望者は9月15日までに)県人権啓発センター
☎073-435-5420 FAX073-435-5421
[seminar@w-jinken.jp](#)
[和歌山県人権啓発センター](#)

おしらせ



参加者募集・イベント案内など

県庁・県教育庁
☎073-432-4111(代表)
〒640-8585 〇〇〇課あて(県庁の住所記入不要)
和歌山県のWEBサイトは <http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

各振興局代表電話	
海草	県庁代表と同じ
健康福祉部	☎073-482-0600
建設部	☎073-423-3281
那賀	☎0736-63-0100
伊都	☎0736-34-1700
健康福祉部	☎0736-42-3210
有田	☎0737-63-4111
日高	☎0738-22-3111
健康福祉部	☎0738-22-3481
西牟婁	☎0739-22-1200
東牟婁	☎0735-22-8551
健康福祉部	☎0735-72-0525
串本支所	☎0735-62-0755
串本建設部	☎0735-62-0755

時…期日 **時間** **場**…場所・会場
対…対象・資格 **定**…定員 **費**…費用
申…申込・応募方法 **問**…問合せ
[☐](#)…Eメール [WEB](#)…県ウェブサイトでも掲載
[🔍](#)…ウェブサイトを検索
*は県庁の敷地内にはありません

役務の提供等の契約に係る競争入札参加資格審査申請

県が発注する役務等の業務(建設工事に関するものは除く)に係る入札参加資格申請の受付
※現在資格を持つ方も申請が必要
対象業種例:建築物の保守管理、警備、情報処理、検査・調査研究など
申:10月2~31日の平日(9:30~16:00)に県庁の関係課、振興局総務県民課(海草除く)、串本建設部 ※郵送可
問:県庁総務事務集中課 [WEB](#)

試験

しけん

知的障害者を対象とした職員採用

時:10月1日(日)
 場:県民文化会館(和歌山市)
 採用予定人数:1人(非常勤職員)
 任用期間:平成30年4月1日~平成31年3月31日の1年間
 受験資格:療育手帳の交付を受けた方または公的判定機関で知的障害があると判定された方で自力で通勤できる方など
 願書配布:申込先、県パスポートセンター、振興局総務県民課など
 申・問:郵送、持参で9月26日までに県庁人事課 [WEB](#)

消防設備士

時:12月10日(日)9:00~
 場:受験票で通知(和歌山市)
 試験区分:甲種 特類・全類、乙種 全類
 費:甲種5,000円、乙種3,400円
 願書配布:申込先、県庁危機管理・消防課、振興局総務県民課、消防本部、市町村
 申・問:郵送、持参で10月4~13日(電子申請10月1~10日17:00)に消防試験研究センター和歌山県支部 〒640-8137和歌山市吹上2-1-22日赤会館6階
 ☎073-425-3369
[消防試験研究センター](#) [Q](#)

身体障害者を対象とした職員採用

時:10月22日(日)
 場:県民文化会館(和歌山市)
 試験区分・採用予定人数:一般事務1人程度、学校事務2人程度、警察事務1人程度
 ※受験資格など詳しくは試験案内をご覧ください
 願書配布:申込先、県パスポートセンター、振興局総務県民課など
 申・問:郵送、インターネットで9月1~15日に県人事委員会事務局 [WEB](#)

県立産業技術専門学院生徒

時:10月18日(水)9:30~
 場:和歌山産業技術専門学院(和歌山市)、田辺産業技術専門学院(田辺市)、東牟婁振興局(新宮市)
 対:普通課程(8学科)=高校卒業(見込)者など、短期課程(1学科)=軽度の知的障害のある方
 定:各科10~20人
 費:2,200円(県証紙、普通課程のみ)
 願書配布:各産業技術専門学院、ハローワーク
 申:9月27日~10月6日に平成29年度高校卒業予定の方は在籍学校、それ以外の方および短期課程希望者はハローワーク
 問:和歌山産業技術専門学院 ☎073-477-1253
 田辺産業技術専門学院 ☎0739-22-2259 [WEB](#)

クリーニング師

時:11月2日(木)10:20~
 場:県民文化会館(和歌山市)
 費:7,000円(手数料)
 願書配布:申込先、県庁食品・生活衛生課、WEBサイト
 申・問:10月2~10日に住所地を管轄する保健所(支所) [WEB](#)

県農林大学校学生・研修生

学科	園芸学科	アグリビジネス学科
募集人員	30人	10人
修業期間	2年	
試験場所	農林大学校(かつらぎ町)	
選考試験	推薦入学試験	
(願書受付)	10月16~31日	
(試験日)	11月6日	

課程	林業経営コース
募集人員	10人
修業期間	1年
試験場所	林業研修部(上富田町)
選考試験	前期募集
(願書受付)	10月16~30日
(試験日)	11月11日

問:農学部 ☎0736-22-2203
 林業研修部 ☎0739-47-4141
[和歌山県農林大学校](#) [Q](#)

熊野古道大辺路(富田坂) 参詣道環境保全トレッキング

時:9月30日(土)
 場:芝生会館~草堂寺~富田坂~三ヶ川バス停(白浜町)
 定:30人 [抽選](#)
 問:県庁観光振興課 [WEB](#)
 ※申込方法については要問合せ



海や河川で遊漁を楽しむ方へ

水産動植物の保護や漁業者の生産力確保のため、採捕禁止期間や漁業権などが定められています。遊漁を楽しむために、ルールやマナーを守りましょう。
 問:県庁資源管理課 [WEB](#)

9月10日は世界自殺予防デー(自殺予防週間9/10~16)

あなたの気づき・傾聴・つなぎ・見守りで救われる命があります。
 自殺対策情報センター相談電話「はあとライン」(平日9:00~17:45) ☎073-424-1700
 問:県精神保健福祉センター ☎073-435-5194

龍門山自然観察会

時:10月8日(日)9:15~16:00
 場:龍門山県立自然公園(紀の川市)
 対・定:小学4年生以上(小学生は保護者同伴) 20人 [先着順](#)
 申・問:郵送、電話、FAX、Eメールで住所、氏名、生年月日、電話番号を9月22日までに県庁自然環境室 FAX073-433-3590
 ☎e0320004@pref.wakayama.lg.jp
[WEB](#)

わかふるコンサート2017

紙遊苑コンサート
 時:9月24日(日)13:30~
 場:紙遊苑(九度山町)
 定:50人 [先着順](#)
 問:和歌山県民文化会館 ☎073-436-1331
[和歌山県民文化会館](#) [Q](#)
 ※未就学児入場不可

放送大学10月入学生

心理学・福祉・経済など幅広い分野を学べる通信制大学
 対:①全科履修生(大学卒業をめざす)18歳以上
 ②選科(1年間在学)・科目(半年間在学)履修生15歳以上
 申・問:電話、インターネットで9月1~20日までに放送大学和歌山学習センター ☎073-431-0360
[放送大学和歌山学習センター](#) [Q](#)

重症心身障害児者等在宅医療等連携体制整備事業 4圏域合同研修会

時:11月18日(土)13:00~16:00
 場:国立病院機構和歌山病院(美浜町)
 定:120人 [先着順](#)
 申・問:電話、FAXで氏名、電話番号、一時保育・手話通訳・要約筆記希望の有無を10月6日までに会場 ☎0738-22-3256 FAX0738-22-2008
[国立和歌山病院](#) [Q](#)

第2回わかわかやま若者・ひきこもり者支援交流集会

講演会、ひきこもり回復者の体験談など
 時:10月4日(水)13:00~17:00
 場:田辺市民総合センター
 定:50人 [先着順](#)
 申・問:電話、FAXで氏名、電話番号などを県精神保健福祉センター ☎073-435-5194 FAX073-435-5193
[WEB](#)

こころの安全パトロール隊員養成講座(ベーシック)

時:9月17日(日)13:00~16:30
 場:和歌山ビッグ愛(和歌山市)
 定:50人 [先着順](#)
 費:1,000円(テキスト代)
 申・問:郵送、FAX、Eメールで住所、氏名、電話番号を心のSOSサポートネット 〒640-0332和歌山市冬野1045 ☎080-5777-5560 FAX050-3730-2286
 ☎info@cocosapo.net
[心のSOSサポートネット](#) [Q](#)

地域講演会「考える、土砂災害」

土砂災害に関する最新の話提供や調査研究報告、事例紹介など
 時:10月7日(土)13:30~15:45
 場:有田川町金屋文化保健センター
 問:県土砂災害啓発センター ☎0735-29-7531
[WEB](#)

9月はオゾン層保護対策推進月間

フロン類は、大気中に放出されるとオゾン層を破壊するだけでなく、地球温暖化の原因にもなります。冷凍冷蔵庫やエアコンなど、身近なところにもフロン類は使用されています。廃棄するときは、決められた業者に引渡ししましょう。
 問:県庁環境管理課

平成29年就業構造基本調査

就業・不就業の状態を調べ、雇用の詳しい状況を明らかにするための統計調査です。無作為に抽出された県内約9,000世帯が対象となります。9月から調査員が世帯を訪問しますので、ご協力をお願いします。パソコンやスマートフォンでのインターネット回答も可能です。
 調査基準日:10月1日
 問:県庁調査統計課 [WEB](#)

高野山麓世界遺産アクセスバス

橋本・伊都エリアへの観光や世界遺産高野参詣道のトレッキングに便利なアクセスバスを運行(有料)します。
 運行日:9月26日~11月26日の土・祝日
 運行区間:橋本駅~丹生都比売神社、丹生都比売神社~高野山(奥の院前)
 問:橋本・伊都広域観光協議会事務局(伊都振興局企画産業課)
[高野山麓いと楽し](#) [Q](#)

和歌山県優良県産品 プレミア和歌山

『プレミア和歌山』は、“和歌山らしさ”“和歌山ならではの”の視点で審査し、優良な県産品を推奨する制度です。

天日梅干(メープルシロップ入)12粒

紀州特産の南高梅にメープルシロップを加えて、デザート感覚の梅干に仕上げました。塩分約7%、個包装・木箱入りです。
 (株)丸惣 ☎0739-22-1155



抽選で10名様にプレミア和歌山推奨品「天日梅干(メープルシロップ入)12粒」をプレゼント!

9月21日(木)<消印有効>までに住所、氏名、年齢、電話番号、商品名、県民の友への感想を記入のうえ、ハガキで〒640-8585(住所不要)和歌山県広報課「プレミア和歌山プレゼント」係へご応募ください。

※皆さんの個人情報は、和歌山県個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。

問:県庁広報課 ☎073-441-2032

[プレミア和歌山](#) [Q](#)



相談

お気軽にどうぞ



※弁護士や労働委員会委員による相談は、事前の電話予約で先着順となっています。詳しくは、各相談窓口へお問い合わせください。

県民相談 ☎073-441-2356
交通事故相談 ☎073-441-2359

常設相談 場所/県庁県民相談室、
県庁交通事故相談所

相談 日時/要問合せ
場所/西牟婁振興局 ☎0739-26-7903
東牟婁振興局 ☎0735-21-9611

弁護士による相談 日時/要問合せ
場所/県庁県民相談室、県庁交通事故
相談所、振興局、海南保健所、串本町
文化センター

人権全般・同和問題相談
☎073-421-7830

常設相談 場所/県人権啓発センター
(和歌山ビッグ愛2階)

※県庁人権局 ☎073-441-2563、振興
局でも実施しています。

弁護士による相談 日時/要問合せ
場所/県人権啓発センター

☎073-435-5420

若者総合相談 ☎073-428-0874
☎0736-32-0874
☎0739-24-0874

常設相談 場所/若者サポートステ
ーション With You (和歌山・橋本・田辺)

With You 和歌山

福祉サービス相談 ☎073-435-5527

常設相談 場所/県福祉サービス運営
適正化委員会(和歌山ビッグ愛7階 県
社会福祉協議会内)

労働相談
☎073-436-0735

常設相談 ☎073-436-0735
日時/火・水・木・金曜16:00~20:00
土・日曜10:00~16:00

※面接相談は要予約
場所/労働情報センター
(和歌山市北出島1-5-46)

労働委員会委員による月例労働相談
☎073-441-3781
日時/毎月第1・3水曜
場所/県庁労働委員会室

**「ジョブカフェわかやま」
就職出張相談** ☎073-402-5757

相談 日時/要問合せ(毎月1~2回)
場所/ハローワーク(和歌山・海南を
除く)

ジョブカフェわかやま

子どもと家庭のテレフォン110番
☎073-447-1152

常設相談 日時/毎日24時間

警察相談 ☎#9110

常設相談 日時/毎日24時間
ダイヤル回線の場合 ☎073-432-0110

女性・男性相談 ☎073-435-5246

場所/県男女共同参画センター“りいぶる”
(和歌山ビッグ愛9階)

総合相談 電話など(常設、月曜休館)
専門相談 カウンセリング・法律相談
(女性のみ)、男性相談 日時/要問合せ

性暴力被害相談 ☎073-444-0099

常設相談 日時/9:00~21:30
場所/わかやまmine(マイン)

医療安全相談 ☎073-441-2611

常設相談 場所/県庁医務課、県立保健
所総務健康安全課(串本支所は保健環境課)

弁護士による相談 日時/要問合せ
場所/県庁医務課

消費生活相談

常設相談 場所/県消費生活センター
☎073-433-1551 (和歌山ビッグ愛8階)
※土日は電話のみ10:00~16:00
場所/県消費生活センター紀南支所
☎0739-24-0999 (西牟婁振興局内)

自衛官募集中

「平和をつくる人が、そばにいる」
問:自衛隊和歌山地方協力本部
☎073-422-5116

県庁市町村課、市町村
自衛隊和歌山

ヤフー!官公庁オークションで 県有地を売却します

ヤフーのWEBサイトから参加仮申
込をしてください。

入札参加仮申込期間:9月4日13:00
~21日14:00

入札期間:10月5日13:00~12日
13:00 ※締切後開札

問:県庁管財課

ヤフー!官公庁オークション 和歌山県

催し

青字施設 は65歳以上、
障害者、高校生以下、外国
人留学生などは入場無料
赤字施設 は入場無料
展 は展示 **イ** はイベント

県立近代美術館 〒640-8137
和歌山市吹上1-4-14
☎073-436-8690 (入館は16:30まで)
FAX073-436-1337 休館/月曜(祝日の場合次の平日)

展 企画展「なつやすみの美術館7 すききらい、すき?きらい?」
~9月18日

展 コレクション展2017-秋 特集「NANGA 俗を去り自
ら楽しむ」 9月20日~12月17日

展 特別展「アメリカへ渡った二人 国吉康雄と石垣栄太郎」
10月7日~12月24日

県立博物館 〒640-8137
和歌山市吹上1-4-14
☎073-436-8670 (入館は16:30まで)
FAX073-423-2467 休館/月曜(祝日の場合次の平日)

展 企画展「西行と明恵」 9月9日~10月5日

県立紀伊風土記の丘 〒640-8301
和歌山市岩橋1411
☎073-471-6123 (入館は16:00まで)
FAX073-471-6120 休館/月曜(祝日の場合次の平日)

イ フカミンのおしゃべり考古学③
9月13日13:30~15:00

対・定・申:15歳以上 30人 **先着順** 当日受付

イ おしえて!!ヤマゲン先生③万葉歌と古代の草木花ガイド
9月24日10:00~12:00

対・定・申:小学生以上 30人 **先着順** 9月8日13:00~

展 秋期特別展「道が織りなす旅と文化」
9月30日~11月26日

イ 特別展リレー講演① 10月21日13:30~15:30

対・定・申:小学生以上 30人 **先着順** 10月6日13:00~

展 標本作品展 9月16日~10月1日

イ 家族で体験 夜の水族館 10月7~8日

対・定:3歳以上の子供とその家族 30人 **抽選**
費・申:2,000円(高校生以下1,500円) 9月23日まで

県立図書館 〒641-0051 和歌山市西高松1-7-38
閲覧室 平日9:00~19:00(土日祝
は18:00まで) 休館/月曜(祝日
の場合次の平日)、毎月第2木曜

イ ボランティアによる「おはなし会」
9月16・23日、10月14日14:00~、10月7日11:00~

イ エントランスコンサート 10月6日12:00~12:30
定:100人程度 **先着順**

片男波公園万葉館 〒641-0022
和歌山市和歌浦南3-1700
☎073-446-5553 9:00~17:00
FAX073-446-5554 (入館は16:30まで)

イ 日曜体験教室 万葉学習セミナー 万葉集入門(全3回)
9月24日、10月22日、11月26日14:00~15:30

対・定:18歳以上 各20人 **先着順**
費・申:全3回3,000円、1回ずつ1,500円 事前申込

イ 第7回「万葉観月の会+わかふるコンサート」
10月1日18:00~20:00

(観月の会18:00~[有料]、
コンサート19:00~[無料])

対:3歳以上
(未成年は保護者同伴)

定・費・申:観月の会のみ30人 **先着順** 500円 事前申込

イ 万葉講座「古代の“和歌の浦と吹上浜”と現在の風景」
10月8日13:30~15:00

対・定・費:18歳以上 30人 **先着順** 500円

県植物公園緑花センター 〒649-6211
岩出市東坂本672
☎0736-62-4029 9:00~17:00(入館は16:30まで)
FAX0736-63-2570 休館/火曜(祝日の場合次の平日)

展 森のキノコ展 9月16・17日

イ キノコ観察会 9月17日

展 黒潮愛蘭会・秋の展示会 9月23・24日

展 秋の小品盆栽展 10月7~9日

イ 和歌山の木で作ろう(木工)
10月8日

9月の花ごよみ
上旬~ スイフヨウ
中旬~ キジジョウロウホトトギス・バラ

県動物愛護センター 〒640-1251
紀美野町国木原372
☎073-489-6500 10:00~17:00
FAX073-489-6504 休館/火曜

イ 犬・猫の飼い方講習会及び譲渡会
①9月1・10・24日②9月14日③9月22日11:00~

場:①県動物愛護センター②御坊保健所③東牟婁振興
局(新宮市)

※譲渡を受けるには受講と、犬については狂犬病予防注射代
2,640円が必要です。

イ 譲渡・ミルク・一時預かりボランティア募集説明会
①9月17日②20日③25日④27日⑤10月2日⑥4日
13:30~14:30

場:①県動物愛護センター②橋本保健所③有田振興
局(湯浅町)④西牟婁振興局(田辺市)⑤御坊保健所

⑥東牟婁振興局(新宮市)
※申込不要(手話通訳・要約筆記希望者は要予約)

イ WAWフェスタin動物愛護週間
動物とのふれあい、動物O×クイズなど

9月30日、10月1日10:30~16:00



ぞん ご存じですか？

きれいな水を未来に！

9月10日は下水道の日 10月1日は浄化槽の日

問 県庁下水道課 ☎073-441-3204

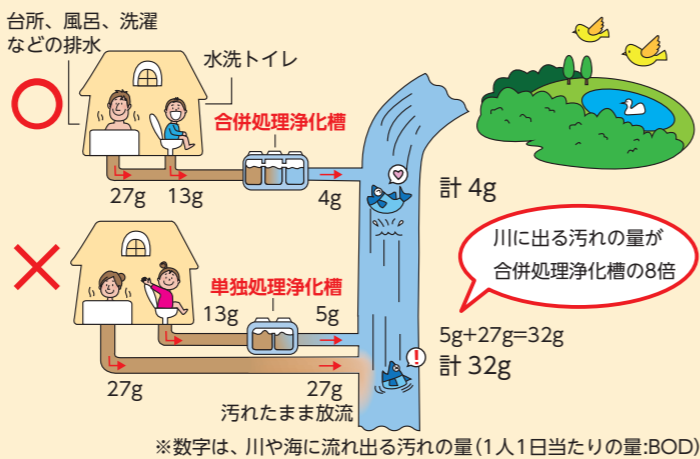
私たちの生活には水が必要です。しかし、川や海の水を汚しているのも私たちです。水を守り、清潔なまちとするため、身近な生活排水をきれいにしましょう。

お願い

- 公共下水道などの工事が完了(供用)した地域の皆さんは、早期に接続をお願いします。
- 単独処理浄化槽は、炊事や洗濯などの雑排水を処理することができません。合併処理浄化槽への転換をお願いします。
- 野菜くずなどの固形物やシンナーなどの揮発性・引火性の高い溶剤は、下水道・浄化槽に流さないようにお願いします。

詳しくは、お住まいの市町村にお問い合わせください。

単独処理浄化槽はトイレの水しか処理できません



健康長寿

日本一をめざして 4

健康をめぐる現状の要因を考える

県福祉保健部健康局長 野尻孝子



長野県では、戦前から全国で高い順位を維持してきた平均寿命について、その要因を分析しています。その結果、就業や社会活動への参加率が高いこと、野菜摂取量や運動量(歩数)が多いこと、また、保健指導員の人数や食生活改善推進員の活動回数が多いことなど地域保健活動の活発さが健康長寿の要因であると報告しています。本県では、長野県と比較すると1日の野菜摂取量は約100g少なく、1日の歩数も男性が約400歩、女性が約700歩少なく、全国でも低位です。

和歌山県と長野県の健康長寿要因の比較

		和歌山県	順位	長野県	順位
65歳以上の就業率	男性	31.2%	19	38.5%	1
	女性	15.5%	19	19.7%	1
社会活動・ボランティア参加率(10歳以上)		24.2%	38	33.1%	6
野菜摂取量	男性	272.2g/日	38	379.4g/日	1
	女性	264.1g/日	37	364.8g/日	1
歩数(20~64歳)	男性	6,675歩/日	46	7,089歩/日	36
	女性	6,423歩/日	38	7,146歩/日	11
健康推進員(保健指導員)数(人口10万対)		98.1人		492.5人	

80 暮らしの情報

9月9日は救急の日

救急医療の適正な利用を

問 県庁医務課 ☎073-441-2604

「軽症だけど、大きな病院で診てもらっておこう」など、救急医療を安易に利用することは避けましょう。緊急性がないのに夜間や休日に救急医療機関を受診する方が増えると、本当に治療が必要な重症者への対応に支障がでる恐れがあります。

お願い

- 軽症の方は休日急患診療所や在宅当番医を利用しましょう。
- 急病以外は通常診療時間内に受診しましょう。
- 緊急性が低い場合は救急車の利用は避けましょう。
- 身近な診療所の医師である「かかりつけ医」をもちましょう。

こんなときは...

- 休日夜間に子どもが急病になり、すぐに病院に行くべきか迷ったとき
子ども救急相談ダイヤル
相談時間: 平日 19:00~23:00
土日祝日・年末年始 9:00~23:00
電話番号: #8000(プッシュ回線・携帯電話)
073-431-8000(ダイヤル回線・IP電話)
- 受診可能な医療機関を知りたいとき
和歌山県救急医療情報センター(24時間)
電話番号: 073-426-1199
※ 歯科の時間外案内は行っていません。

人権連 ころの気づき

認知症サポーターを ご存じですか？

問 県庁高齢者生活支援室 ☎073-441-2522

認知症サポーターって、何する人？
なにか特別なことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族に対して温かい目で見守る「応援者」です。
認知症は、誰にでも起こり得る脳の病気によるもので、いつ自分や家族がなるかわかりません。その症状により、様々な不自由を抱え、不安を感じながら生活しています。でも、周りのみんなの理解と気遣い、さりげない支援があれば安心して生活を送れます。他人ごととして無関心でいるのではなく、「自分の問題である」という認識を持つことが大切です。
地域で、あるいは職場における理解者として、認知症に対して正しく理解し、偏見をもたないことや、認知症の人や家族に対して温かい目で見守るなど、地域でできることを探し、自分なりにできる簡単なことから実践することで、認知症に対する理解者として行動してもらいたいことを期待しています。
認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを、みんなで進めていきたいと思います。



オレンジリング
認知症サポーター養成講座を受講した方にお渡しする「認知症サポーターの証」です。



広報課からのお知らせ



テレビ テレビ和歌山 WTV

きのくに21 日曜 9:30・(再) 18:30
9月 3日 アジア・オセアニア高校生フォーラム
9月10日 食の安全・安心を考える
9月17日 わかやま結婚・子育て応援企業同盟
結成!
9月24日 知事と語る

県民チャンネル

月・火・木・金・土曜 21:55

マンスリー県政 ニュースワイド

毎月最終金曜 19:29~19:58



ラジオ 和歌山放送 WBS

県庁だより 毎日 11:40・(再) 18:00

※土・日曜は再放送がありません。

ラジオでお届け! 県政最前線 火曜 15:40~16:00

放送内容・時間は都合で変更する場合があります。

なんき

南葵音楽文庫寄託記念
読売日本交響楽団和歌山特別公演



指揮 川瀬賢太郎 ピアノ 仲道郁代

時: 12月6日(水) 19:00開演

場: 県民文化会館大ホール(和歌山市)

費: S席3,000円 高校生以下1,500円
A席2,000円 高校生以下500円(全席指定)

問: 和歌山県民文化会館 ☎073-436-1331

※未就学児入場不可 [和歌山県民文化会館](#)

広告 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032

知事メッセージ

県民の皆様へ



2つめの就活サイクル

毎年春から夏にかけて大学生が就職活動として企業訪問をしている姿がテレビなどで報じられます。この時期になるとぼさぼさ頭の男子学生もきっちり髪を整え、スーツ姿に身をやつし、茶髪的女子学生も黒く髪を染め直して、いそいそと企業に通います。高校生諸君も企業訪問をして自らの気持ちを確かめ、面接に向かうのです。この就活サイクルは日本が誇るべき労働制度だと思えます。採用する方、される方の双方にとってできるだけ良い相手を探そうとする集団見合いみたいな制度ができています。採用する方、される方の双方にとってできるだけ良い相手を探そうとする集団見合いみたいな制度ができています。採用する方、される方の双方にとってできるだけ良い相手を探そうとする集団見合いみたいな制度ができています。採用する方、される方の双方にとってできるだけ良い相手を探そうとする集団見合いみたいな制度ができています。

今の時代、必ずしもすべての人が終身雇用とは限りません。女性で出産子育てを機に職場を離れたが、子供が大きくなったのでもう一度職に就きたいと思っている人が随分いるのではないかと思います。定年後、もう一度働きたいと思う人もいでしょう。また、転職を考える人もいでしょう。特に県外大学進学率No.1の和歌山県の出身者で大学の近くで就職したけれど、できれば和歌山に帰りたいという人もいでしょう。

でもそういう人に上述のような便利な就活制度はありません。そこで和歌山県はそれを創ることにしました。第二の就活サイクルの創設です。多くの企業や団体に協力を願って新卒の就活サイクルの終わる9月の後、10月から2月にかけて、企業等に改めて中途採用の求人を出してもらい、それを集めてどんどん宣伝をし、そのための就職イベントなどもどんどん行って、新卒以外の方々が就職を決めやすくする「2つめの就活サイクル」を創ります。

今は準備の真っ最中。何せ世界初の試みですから大変ですが、そのためのキックオフイベント(7月11日)に講師としてきていただいた労働経済学の泰斗、清家篤前慶應義塾大学学長や厚生労働省の幹部からも大いに期待をされています。皆さん乞う御期待。

和歌山県知事 仁坂 吉伸